

1. 山あいの盆地に生まれた産業

- (1) 資料Ⅰを見て、気付いたことを挙げてみよう。

--

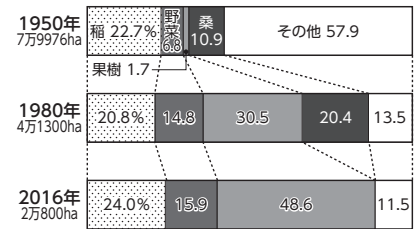
- (2) 1950年に作付面積の約1割を占めていた「桑」とは、どのような場所で栽培されていましたか。また、それはどのような目的で栽培されていたものだろうか。

場所：	目的：
-----	-----

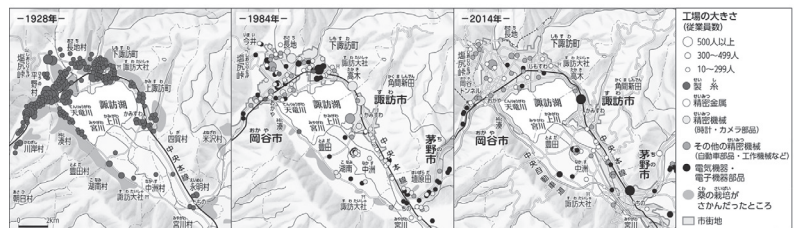
- (3) 山梨県で栽培が盛んな果樹の例を挙げ、果樹の作付面積の割合が増えてきた理由を考えてみよう。

果樹	理由

資料Ⅰ 山梨県の農産物の作付面積の内訳の変化



資料Ⅱ 諏訪湖周辺の工業地域の変化



2. 製系業から電気機械工業へ

資料Ⅱや地図帳を見て、諏訪盆地でどのような工場が多くみられるか、下の表にまとめてみよう。

① 1928 年	② 1984 年	③ 2014 年

3. 涼しい気候を生かした高原野菜

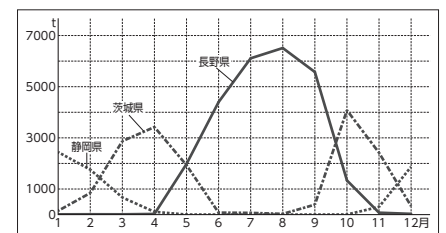
- (1) 長野県でレタスの栽培が盛んな地域を挙げてみよう。

--

- (2) 資料Ⅲを見て、長野県から東京の市場に出荷されるレタスの量が夏に多い理由を説明してみよう。

--

資料Ⅲ 東京へ出荷されるレタスの量



本時のまとめ

◆ 中央高地の産業の変化を、「製系業」、「精密機械工業」、「電気機械工業」の語句を使って説明しよう。

--